

やまびこ

第37号 令和2年1月

編集・発行 掛川地域力向上委員会

Tel・Fax 0561-48-6165

E-mail:kakegawatiikiriyoku140510@gctv.ne.jp

初 春

今年もよろしく
お願いいたします



子年のこと

今年は、2回目の東京オリンピックの年、また、十二支の始めの年「子年」です。そして閏年(うるうどし)です。

干支は、十干(じつかん)と十二支(じゅうにし)をあわせた「十干十二支」の略です。

十干は、甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)・戊(つちのえ)・己(つちのと)・庚(かのえ)・辛(かのと)・壬(みずのえ)・癸(みずのと)

十二支は、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥

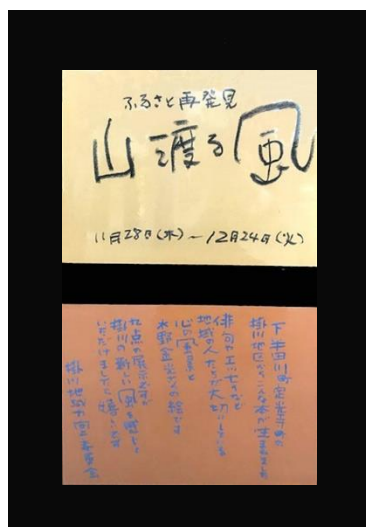
この十干と十二支を順に組み合わせ甲子(きのえね)乙丑(きのとうし)というのが干支です。干支には六十の組み合わせがあり、一巡すると還暦です。十干は、五行(木火土金水)に陽を表す「兄(え)」と陰を表す「弟(と)」を付けたもので甲であれば「木の兄(きのえ)」で表します。ここから、十干を「え」と呼ぶようになり「干支」も「え」と読むようになりました。

ねずみ(子)は、「ねずみ算」と言う言葉があるように子どもをどんどん産んで数を増やしていくことから「子孫繁栄」の象徴でもあります。

株式市場では、「子年は繁栄」と言われ株価は、上昇傾向にあると言われています。



ふるさと再発見「山渡る風」が 図書館で展示されました



11月28日から12月24日
まで瀬戸市立図書館にて「山渡る
風」の展示会が開催され好評
のうちに終了しました。



花苗の植え替えを行いました



環境美化グループ
のメンバーを中心に、パンジーの苗
をたくさん植えました。



第3回史跡探訪ウォーキング講座 ～下半田川町編～

令和元年12月7日、掛川地域力向上委員会と掛川公民館の共催で史跡探訪ウォーキングが開催され22名が参加しました。

今回は下半田川町編でした。



馬頭観音



神明宮



国道248号愛知県境の峠で「馬頭観音」を参拝したのち、愛知・岐阜県境の散策道を歩き、筒小屋展望台で休憩。ここは古虎溪に近いところ（定光寺カントリーの真北）で、小高い展望台からは多治見市街や遠くは木曽御嶽が見えるスポットです。

馬頭観音から筒小屋展望台までの間にお富士さん（富士山宣現大日如来が祀られている祠）や神明宮があり、これらを拝観しながら紅葉の林道を歩きました。この後、お富士さんまで戻り下半田川町民会館に帰着し、約4.5kmの道のりでした。講師は富田彪さんでしたが、市之倉町の渡辺安重さんが飛び入り参加され、たくさんの解説をしていただきました。また、四日市から来られたご家族もありました。



みなさんで記念撮影

赤い実 図鑑

撮影 富田幹夫



カラタチバナ (唐橘)
俗称 百両



アリドオシ (蟻通し): 俗称 一両
「千両万両、有り通し」



ソゴ: 恵那近辺で門松に使用



ミヤマシキミ (深山柰)
俗称 億両: 万両より実が大



ヤブコウジ (藪柑子): 俗称 十両



クロガネモチ、「苦勞がなく金持ち」



サネカズラ (実葛)
別名 美男葛



センリョウ (千両)



ナンテン (南天)、「難を転じる」



シロミノマンリョウ (白実万両)



お年玉クイズ～難読漢字・植物編～

今年のクイズは、難しい漢字を読んでことわざを完成させるものです。
お休みに辞書を片手に楽しんでください。ヒント・・・マスの数です。

2 重マスに入る言葉が答えです。



1				
2				
	3			
	4			
	5			
6				
	を			
	7			
	8			

問題

次の読みを番号のマスに入れてことわざを完成させてください。

- 1 燕子花
- 2 胡瓜
- 3 独活
- 4 蘇鉄
- 5 葱
- 6 蓑
- 7 甘藍
- 8 郁子

【応募方法】

- ★応募資格は「やまびこ」の読者のみなさんです。
- ★解答、住所、氏名を記入し、解答欄を切り取るか、コピーして、掛川公民館のポストに投函してください。掛川地域力事務局へFAX・メールでも受け付けます。
- ★「やまびこ」への要望、感想、企画などをお書きいただくと嬉しいです。
- ★正解者の中から厳正な抽選により **5** 名にプレゼントを差し上げます。

応募締切：令和2年2月12日（水）

キ リ ト リ

町 名前

解答

						を		
--	--	--	--	--	--	---	--	--

【ご意見など】

会員の声

掛川と私

定光寺町 柴田 真央

真央さんは現在、特別支援学校高等部の先生として障害をもつ子どもたちと奮闘中です。

私は、生まれてから30年以上、定光寺町で育ってきた。掛川保育園も掛川小学校も、仲良しの7人の同級生とともに、勉強したり遊んだりして過ごしてきた。教科書や問題集のクラス名はいつも空欄で、出席番号は6年間4番。全校みんな友達が当たり前。そんな小さな社会の中で、のほほんと成長した。小さな頃は留守番ができなくて、家に誰もいないと近所の人に泣きながら電話をかけて、家の人が帰るまで助けてもらっていた。小さい集団のおかげで、いろいろな経験を積ませてもらうことができた。小さな学校ならではの温かい雰囲気が好きで、小学校の担任の先生の影響で学校の先生になりたい！と思うようになった。毎日、歌がいっぱいの明るいクラスで、電車でこじんまりと出かけた修学旅行もとても楽しかった。一人一人としっかりと向き合ってくれる担任の先生やほかの先生たちともとても充実した小学校での生活を送ることができた。

中学校に入り、電車を使って通学をするようになった。クラスも多く、話したことのない友達もいる中で、大きなカルチャーショックを受け不登校になってしまった。しかし、そんな時に助けてくれたのは家族や先生だけでなく、定光寺町の人だった。親身になってくれる地域の人に助けてもらい、なんとか登校できるようになり、駅まで祖母の送り迎えで助けてもらいながら中学校の3年間で過ごすことができた。

現在、なんとか夢だった学校の先生として特別支援学校で働いている。自分が育った環境と近い8人の教室で授業ができ、懐かしく感じることもある。障害のある生徒たちなので、つまずくこともしばしば・・・ハプニングも多々・・・毎日いろいろなことが起こるが、温かい雰囲気の小学校の頃のように、一人一人と向き合って笑顔で仕事を頑張ろう！と思う日々なのです。



編集後記

令和2年が始まりました。新元号になってから初めてのお正月を迎え新しい時代のスタートの息吹を感じます。元旦には、お雑煮やおせち料理を家族と食べ、お正月を満喫してされたことでしょう。

今年もさらなる誌面の充実を目指してがんばります。ご愛読のほどよろしくお願いいたします。
(広報グループ 一同)